

学級活動（１）指導案

呉市立上山田小学校 櫻 恵子

1 学 年 第6学年

2 議題名 中学生となかよくなろう集会の計画を立てよう

3 議題ができるまで

本学級の児童は、最高学年になって「学校のリーダーとして自主的に学級や学校生活を豊かにしよう」というめあてを持ち、積極的に生活している。一学期に、5年生の時から育てていたホタルが成虫となり、地域の人を招いて、総合的な学習のまとめともいえる「ホタルライトフェスティバル」を開いた。その後、育てたホタルをどうするかが問題となり、「中学に行ってもホタルを育てたいけれど、全員で飼育するのは無理だ。次の6年生に任せたほうがホタルが育つよ。」などの意見が出され、5年生に引き継いでもらうことになった。このホタルライトフェスティバルをきっかけに、児童の中から、中学生になることに對する期待と不安の声が出てくるようになった。

7月になり、卒業生の中学1年生が里歸りをした。その時、少しだけ中学校生活の様子を教えてもらうことができた。生活ノートに、「中学校の部活動の数が多いのでびっくりしました。でも、とっても楽しみにになりました。」と書いている児童もいた。

しかし、卒業生との交流会は短時間で不十分だったので、二学期に中学校生活について調べることを約束して一学期を終えた。

二学期になり、学級のめあてや係などを見直すとともに、総合的な学習（山田っ子学習）で取り組みたいことを出し合った。その中に、「里歸りの続きをしたい。中学生にインタビューをもっとしたい。」「中学の授業を見てみたい。」「中学生の部活動の様子を見たい。一緒に活動してみたい。」など、「中学生との交流」に関する意見が数多くあった。そこで、山田っ子学習のテーマを【ザ・卒業チャレンジ in わかば】として、一学期に約束したことを実現し、発展していく学習を始めることになった。

今回の議題は、10月1日に東畑中学校へ部活動の見学に行ったことから始まった。その時、中学生に学校の中を案内してもらったり、部活動を体験したりすることができた。この交流をきっかけに、中学生ともっと一緒に活動したい、なかよくなりたいといった意見が出されるようになり、中学生となかよくなろう集会を開こうという提案が出され、わかば会議で話し合うことになった。

3 教師の願い

本学級では、中学校で新しく友だちができるか、新しい環境に慣れていけるか、上級生とうまくかわっていけるかなど、進学に対する不安を抱えている児童が多い。そこで、児童と話し合いながら中学生との交流を進めてきた。その活動の中で、学級活動で話し合う議題がいくつか生まれてきた。今回の議題についても、学級全員で知恵を出し合って、中学校生活をより身近に感じたり、中学生と親しくなったりする楽しみが持てる活動を考

えてほしいと願っている。

本学級には、校区外から通学している児童もあり、全員が同じ中学校へ進学することはない。そのこともふまえ、一人一人の児童が進学に向け、夢と希望を持って残り5か月間の小学校生活をつくっていきける活動になるように支えていきたい。中学校の教職員とも連携をとりながら中学生との集会をすることによって、児童の不安が解消していくように活動を見守っていきたい。

4 活動計画

10月26日(金) 11月の議題を決める。

11月2日(金) 提案者と司会グループで計画書を作る。

11月7日(水) わかば会議準備会を開く。

5 本時のねらい

- 一人一人が中学生と楽しく交流体験をするための内容を考えることができる。
- 活動や実践への見通しを考えて発言することができる。

6 展開

6年1組 第(17)回 わかば会議の計画			
日	時	(11)月(12)日(月)曜日	第(2)校時 名前()
議 題	中学生となかよくなろう 集会の計画を立てよう。		
提 案 理 由	中学校の陸上部の人と一緒に練習をしたり部活動などを見たりしたことが楽しかったのも中学生となかよくなりたいし、おれもしたいので、提案しました。		
提 案 者()			
役 割	司 会		ノート記録
	黒板記録		
話 合 い の 順 序		時間配分	気 を つ け る こ と
1 はじめの言葉(学級の歌を歌う)		5分	
2 議題の確かめ			
3 提案理由の説明と質問			
4 話合い			
① どんな事をするか		20分	・中学生と一緒に活動したいことのアンケートをとり、まとめておく。
② おれをどうするか		15分	・連絡委員が中学生にもどんなことがしたいのか聞いておく。
③ 分担について			・自分たちも中学生も楽しめる内容を考える。
5 決まったことの確かめ		5分	
6 先生のお話			
7 おわりの言葉			

7 評価の観点

- 自分が体験したことを、みんなの意見を取り入れながら考え、発言できたか。
- 実際の活動を想定しながら考え、発言していたか。